



# 校友会報

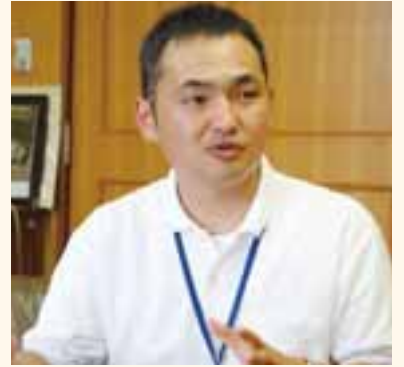
## Contents

- 2 校友訪問 ～活躍する卒業生を訪ねて～  
校友インタビュー
- 4 校友会ニュース
- 6 仕事場からのメッセージ
- 8 校友ネットワーク
- 10 キャンパスニュース
- 11 平成21年度事業報告・収支決算  
平成22年度事業計画・収支予算
- 12 インフォメーション



# 校友訪問

— 活躍する卒業生を訪ねて —



社会福祉学部 1期生  
田村 智之 さん

社会福祉法人 三幸福社会  
法人本部 清華園総務主任

聞き手：  
校友会事務局 山口 博文



今回、初めての企画として社会で活躍する卒業生の職場を訪問して、仕事のやりがいや後輩へのアドバイスなどのインタビューを行いました。

**Q. 現在の職場で担当している業務を教えてください。**

三幸福社会の法人本部で総務主任として、公的機関への許認可申請、採用活動などの仕事をしています。法律が変わると法人のすべての施設の申請を行わなければならないなど大変な部分もありますが、法人全体を見渡して利用者様とそれを支えていく職員にとってベストな施設になるよう、様々な提案ができるポジションなのでやりがいを感じています。

**Q. 仕事では様々な苦労があったり、逆に喜びもあると思います。田村さんは現在の職場でどんなやりがいを感じていますか。**

実は私は以前、高齢者施設の生活相談員をしていました。その仕事にもやりがいを感じていたのですが、利用者様へのサービスを向上していくためには、もっと広い視野に立つて施設全体に関わることができるよう業務をやってみたいと思うようになりました。そんな思いから現在の法人に転職しました。

現在のポジションに就いてから法人内の事業所会議のやり方を変えるように提案したり、地域貢献として地元の高校の授業へ職員を派遣することを提案してきました。良いことはどんどんやろうという前向きな組織風土なのでやりがいを感じています。

また、当法人は利用者様への質の高いサービスや地域貢献という理念をとっても大切にしています。その理念を実現するためには、サービス提供者である職員も大切にしなければならぬという運営方針なので、自分が頑張らねばならないという気持ちになります。

**Q. 法人全体の方針が明確で働きやすいということですが、田村さん自身の仕事の抱負や目標をお聞かせください。**

少し大袈裟な言い方ですが社会の中での人と人との絆が薄れているような気がしています。

自分のことだけを考えている良い仕事ができませぬし、縦のつながりだけでなく、横のつながりがなければ、それぞれの人が疎外感を感じて組織への帰属意識が薄れ、結果的にこの組織のために働こう、この組織を良くしてやろうと意識が芽生えて来ないと思います。ですから、これから組織内の連帯感が強まるようにクラブ活動を活発にしたり、介護関係の研修会など学び合いの機会を設けたりして、職員一人ひとりが「絆」というものを感じているようなプログラムを実施していきたいと思っています。

**Q. 資格取得など今後のキャリアアップについてはどう考えていますか。**

現在、社会福祉士、社会保険労務士、介護支援専門員などの資格を取得しているので、今後は、その資格を活かせるように自分の仕事を深めていきたいと思っています。

**Q. 仕事以外に社会福祉士会や成年後見人などの活動をしてられるようですが、その活動状況はいかがですか。**

兵庫県社会福祉士会の東播ブロックの役員をさせていただいています。主に東播ブロックの活動方針を審議したり、研修会などのお世話をさせていただいています。少し前には独立しておられる社会福祉士の方をお招きして研修会を開催しました。

成年後見人の方は地元の司法書士と勉強会を立ち上げたり、対象者の方の財産管理や身の上管理などを行っています。地域のお役に立てるならば、できるだけのことをさせていただきたいという思いで活動しています。

**Q. 仕事以外でも非常にアクティブに活動されていらっしゃるようですが、何かきっかけがあったのでしょうか。**

私の尊敬する方から「能力の出し惜しみはするな」とのアドバイスを受け、その方がそれを実践しておられる姿を見て、私自身もやらねばと思うようになりました。

また、オバマ大統領で有名になった単語ですが、ある方から「チェンジ」、すなわち、自分たちが働きかけて、物事をより良い方向へ変化させていくことが大切だと教えられました。

出し惜しみせずに多くの活動をしていると新しい考えを持った方との出会いがあり、また刺激を受けることができます。そんな人との関わりが私のエネルギーの源泉になっていると思います。

**Q. 座右の銘、または大切にしている言葉を教えてください。**

座右の銘というほど大袈裟なものではないのですが、いつも自分自身に言い聞かせている言葉が二つあります。

一つ目が「感謝と謙虚」で、総務という全体を見渡すポジションにいと現場の方との距離ができてしまいがちなので、いつも現場で働いている方の苦労を忘れないように感謝することと、いつも初心を忘れず謙虚な気持ちで仕事に取り組むよう自分自身に言い聞かせています。





▲特別養護老人ホーム 清華苑



【三幸福社の概要】

兵庫県明石市に昭和61年に社会福祉法人三幸福社として設立。翌62年に特別養護老人ホーム清華苑を開設。その後、平成元年には明石市初のデイサービスセンター清華苑デイサービスセンター開設、平成10年に老人保健施設精華苑養力センターを開設するなど「ここへ来れば安心」「生きていてよかった」という運営方針で地域の高齢者福祉に貢献している。

二つ目が「バランスとタイミング」です。今までの経験から経営的な論理と現場の論理のバランスをとっていかねば仕事が進まないと感じています。また、その時点で優れた提案であってもタイミングを逃せば、せっかくの企画が無意味になってしまったり、実現しなかったりするので仕事をする上でタイミングも大切にしています。

**Q. 仕事でたままったストレスをどう発散しているのか教えてください。**

あまり趣味がないので、これといったストレス発散方法はないのですが、強いて言えば、社会福祉士会で知り合った人や、成年後見人の関係で知り合った友人と食事をしながら、好きなことをワイワイ語り合うことでしょうか。

他には、子供が小さいので手がかるのですが、接していると自分自身が癒されるような気がしています。

**Q. 仕事を取り組む中でモチベーションが落ちることもあると思います。そんな時、モチベーションを上げるためのコツがあれば教えてください。**

事業所の責任者や施設の経営に携わっている人など自分よりもっと責任の重い仕事をしている人のお話を聞くことでしょうか。モチベーションを上げたい時には、自分からアプローチして「ご飯食べに行きましょう」とお誘いしています。熱意のある話を聞いていると自分もやらなければとファイトが湧いてきます。

**Q. これまでの様々な経験を踏まえて後輩へのアドバイスをお願いします。**

今、働いている職場で10年後の自分がイメージできないならば、将来についても一度考えてみる必要があると思います。度々転職するのはマイナスですが、思い切って自分が共感できるような理念やサービスを行っている事業所に変わってみるのもよいのではないのでしょうか。給料どうのこうのというよりも、ビジョンを持てるかどうか大切だと思います。



社会福祉学部 10期生  
土井原 一輝さん  
医療法人千水会 赤穂仁泉病院  
ソーシャルワーカー室

**Q. 担当している業務を教えてください。**

主に入院の調整、患者様からの相談、障害年金・障害者手帳・自立支援医療等の福祉サービスの紹介や利用援助、患者様が入院するにあたり、使えるサービスを考えたり、実際にサービスが使えるように、患者様が入院中に生活環境を整えるということをしています。また新たに始める、患者様の家族を対象とした、家族心理教育の立ち上げや、そのプログラムにも関わっています。

**Q. 社会人となって、及び学生の時と意識がどう変わりましたか？**

意識はかなり変わりました。実習先と同じ職場ということもありますが、実習時に接していた患者様でも、当時は会話したり、今後のことをどうするかを考えるだけでした。しかし現在は、実習時と同じ患者様と関わるにしても、話し合いながら、具体的に生活しやすい環境を考え、その為に機関に働きかけてサービスを利用できるように動くので、責任がある分、プロとしての意識も高くなりました。

**Q. 業務における今後の抱負、及び目標を教えてください。**

今後は病院で働くにあたって、フット

ワークの軽いPSWになり、PSWにしかできないことをたくさん任せられるようになりたいと思っています。そしてそのために、仕事を早く、丁寧にできるよう向上心を持って取り組みたいと考えています。

**Q. 休日はこのようにして過ごしていますか。趣味やストレス解消法は何ですか。**

休日は家でゆっくり過ごすよりも、ほとんど友人と遊びます。たまに趣味の釣りに没頭する時もあります。とにかく、家でゆっくりするよりも、出かけて気分転換をして、ストレスを溜めないようにしています。

**Q. 就職活動や学生生活について、後輩へのアドバイスや学生の時にもっとしておけばよかったことなどを教えてください。**

学生生活では、たくさん遊んだつもりでも、社会人になると、もっと遊んでおけばよかったと、よく思います。私はなかなか連休が取れないので、GW等の一般的な長期休暇でしか旅行や遠出等できません。どこで遊ぶにしても人ごみがうっとうしいと心から思います。平日にたくさん遊べる、学生のうちにしかできないことをたくさんして、気持ちよく社会人になれるといいと思います。

校友インタビュー

## 校友会東海支部総会報告および活動報告

東海支部は、設立して一年半が経ちました。活動の土台作りが少しずつできてきたように感じます。

活動は、5月に役員会および監査会、11月に総会、3月に役員会を行い、事業の計画などを話し合っています。また、交流の場として新メンバー歓迎会と懇親会などを開催しています。

この一年半の間、多くの方にアドバイスをいただきました。顧問の岩間文雄先生、1期生の藤田正樹さん、大学校友会の事務局の方々にご相談しながら、運営を進めてきました。

支部の活動は、土台作りとともに会員の方にとって「参加しやすい」「楽しい」事業を考えていくことも重要です。しかし、会員の方からは、一人では参加しにくいという意見が出ていました。そのため、今年の総会では、東海支部の活動の様子などを見てもらい不安な気持ちが軽減するように、活動を知ってもらうために「同窓会会員限定のコミュニティサイト Bikita ビキタ」を活用する案などが出ました。

役員会などでは、活動についての話し合いをしています。懇親会では皆、大学時代に戻り、懐かしい思い出を話したり、お互いの仕事について語り、交流の場となっています。

会員の方が一人でも多く参加していただけるように、事業を検討していきたいと思っています。

東海支部 支部長 梅川 久美子  
(社会福祉学部 1期生)



## Big Family



昨年度、卒業生も参加して旅立ったフィリピンボランティア研修旅行。現地ですトリートチルドレンの実情を目の当たりにし、多くを学び、感じたメンバーたちは帰国後、支援団体“Big Family”を立ち上げました。現在メンバーは研修旅行に参加した在学生11名と、新たに加わった3名の14名で活動しています。

活動の第一弾として行ったのは古着の収集。現地の子どもたちに届けたいと、子ども用の使わなくなった靴・半ズボン・下着やTシャツなどを集めるため、

学内だけに留まらず、地元スーパーなどでピラ配りをするなど積極的なPR活動を展開しています。

最初は集められるか不安も感じていたそうですが、赤穂市民の方々に協力して頂き、収集当日には予想を上回る古着の数々が届けられました。メンバーたちは古着を提供して下さった方々の想いを届けるため、輸送の準備に追われています。

11月23日(火)には公開講演会として、研修旅行にコーディネイト役として協力して下さった団体KANLUNGAN SA ER-MA MINISTRY, INC.より講師をお招きする予定ですので、卒業生の方もぜひご聴講ください。



## 結婚式 祝電サービス について

ご結婚される卒業生の方に、校友会より祝電をお送りいたします。ご希望の方は、右記の①～⑧を電話かFaxまたはE-mailで校友会事務局までお知らせください。

※祝電依頼は挙式当日の1週間前までをお願いいたします。

お知らせください

- ①お名前
- ②電話番号
- ③挙式日時
- ④式場名
- ⑤式場住所
- ⑥式場電話番号
- ⑦新姓
- ⑧新住所





# 第6回 発達支援セミナー開催

共催: 関西福祉大学・赤穂精華園・赤穂市教育委員会

8月20日(金)、今年で6回目となる発達支援セミナーが開催されました。今回は「発達障害を抱える子どもや大人への協働支援のあり方」をテーマに、基調講演や各分科会などで支援について研修や意見交換を行いました。

当日は、本学在学学生をはじめ、福祉施設で働く卒業生、赤穂市内外の教職員や施設職員、本学を目指す高校生、地域の一般参加者など、300名を超える多くの方々にご参加いただきました。このセミナーは、これから福祉を目指す在学が現場で働く卒業生や専門職員と交流できる機会にもなっています。これからもこの発達支援セミナーが、在学と現場を繋ぐ架け橋となることを期待しています。

(社会福祉学部  
准教授 八木 修司)



基調講演	演題：「発達障害児童の理解とその具体的支援」 講師：田中 究 (神戸大学大学院医学研究科精神医学分野准教授)
学生研究発表	研究発表「子どもの対人関係・児童虐待・発達障害・特別支援教育・子育て支援・スクールソーシャルワークの展開」等、(演習Ⅱ、SSW演習)
第1分科会	演題：「発達障害を抱える子どもを学校でどう支えるか —その子どもとクラスメイトにどのように教師として関わるか—」 講師：前田 研史 (神戸女子大学文学部教授) 講師：廣岡 純子 (明石市立人丸小学校教諭)
第2分科会	演題：「発達障害を抱える子どもや大人の家族支援」 講師：米倉 裕希子 (関西福祉大学社会福祉学部専任講師) 講師：三村 加寿子 (赤穂地区手をつなぐ育成会) 講師：中川 裕美子 (障害者支援施設 愛心園)
第3分科会	演題：①「児童福祉施設の現場で使えるSST(ソーシャルスキルトレーニング)」 講師：重近 真由美 (赤穂精華園児童寮、関西福祉大学OG) 他 演題：②「知的障害を抱える人の就労支援について」 講師：山下 文也 (赤穂精華園地域支援室課長) 他
第4分科会	演題：「子どもの発達と保育 —学力形成か遊びか？どちらも問題？どちらも大切？—」 講師：八木 英二 (京都橘大学人間発達学部教授)
特別分科会 (高校生対象分科会)	演題：「[こころ]のサポートとは何か！」 講師：佐伯 文昭 (関西福祉大学社会福祉学部教授) 講師：鍋嶋 沙織 (清水が丘学園、関西福祉大学OG) 演題：「子どもへの支援 —スクール(学校)ソーシャルワーカーをめざして—」 講師：八木 修司 (関西福祉大学社会福祉学部准教授) 報告：スクールソーシャルワーカー養成課程4年次生

## 大学院社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程

入試区分 項目	Ⅱ期
募集人員	I期と合わせて10名
出願期間	平成23年1月24日(月)～2月7日(月) 消印有効
試験日	平成23年2月12日(土)
試験科目数	一般入学試験：英語・専門科目・面接 [研究計画書参考] 社会人入学試験：小論文・面接 [研究計画書参考] 外国人留学生入学試験：専門科目・面接
試験会場	本学
合格発表	平成23年2月18日(金)
入学手続期間	(1次)平成23年2月18日(金)～2月25日(金)消印有効 (2次)平成23年3月1日(火)～3月24日(木)消印有効

平成22年度

第1回

## 関西福祉大学 公開講演会のお知らせ

今年度も昨年度に引き続き、公開講演会を開催します。第1回公開講演会は昨年度、卒業生も参加して実施されたフィリピンボランティア研修旅行でお世話になった、KANLUNGAN(ストリートチルドレンの保護活動に取り組むNGO)の方を講師にお招きして開催する予定ですので、卒業生の方もぜひお気軽にご聴講ください。

開催日時 平成22年11月23日(火)

開催場所 本学大学講義室(A100)

講師 KANLUNGAN SA ER-MA MINISTRY, INC.  
(CENTER FOR CHILDREN-IN-NEED)

エグゼクティブ・ディレクター Ms. Sol M. Balbero 氏

演題 「フィリピンの現状と  
日本人ボランティアの可能性について」(仮)

次回公開講演会は平成22年12月9日(木)開催予定。  
詳細が決定次第、大学HP等でお知らせ致します。

# 仕事場からの メッセージ



高屋 吉宏さん

社会福祉学部 1期生

医療法人 美翔会  
介護老人保健施設 愛和ケアホーム

私が関西福祉大学を卒業して、九年以上は経っているかと思えます。現在は医療法人 美翔会が運営する介護老人保健施設 愛和ケアホームで支援相談員として奮闘しています。姫路市のほぼ中心に近く、交通の便としては最高の立地条件です。この職場に就職したときに自分が感じたことがあります。それは、自分の無能さと非力さでした。

支援相談員として配属され業務をはじめるところから、自分がまず何をすればいいのか役割すら把握できず、悔しくて一晩眠ることができない日もありました。しかし当時の師長の配慮から「現場で経験してみたら、何か見つけられるんじゃない?」と、療養棟の介護職へ異動となりました。現在はありがたい話として書いていますが、当時は、悔しさと情けなさで相当ショックを受けました。

そして、介護職として再出発をはじめ、最初は慣れない業務で苦勞もしましたが、やっけていくうちに利用者の身体状況や認知症状、病状に関する「生きた情報」が、支援する上でいかに重要であるかを感じ知らされました。また、利用者の背景と家族の背景を十分に把握することで、身体介護だけでなく生きがいの支援もしていく事が可能になるのだと再確認できました。

そんなこんなで介護職として、約三年半は必死にこなしていたと思います。その頃には、現場で働くことが毎日楽しく、やりがいをもって仕事ができていました。そんなある日、事務長から「もう一度支援相談員をやってみないか」と声をかけて頂きました。介護職としてやっけていくかと思っていた私にとって、思いも寄らない話でした。しかし、ある程度積み重ねた自分の経験を生かすことができ

## 私にとって仕事は

## 「日々自分との戦いであり、人生の修練場」

きるという思いと、就職当時の名誉挽回をしてやろうという闘争心から支援相談員への再復帰を快く受けました。支援相談員に戻ると最初の頃にあった疑念はすぐに払拭されました。相談業務にあたるポイントも見え、復帰としては順調なスタートを切る事ができました。

しかし、いろいろと見えて来ることで同時に仕事に対する課題も見つかり、そのハードルの高さにも気づきました。特に近年、介護保険制度の改正、医療制度の改正とめまぐるしく変化していく中、相談に来られる家族や利用者本人のニーズがより一層複雑になってきています。当施設は、デイケア・短期入所もある中、在宅サービスと施設サービスへの考え方が単一化してきています。本来の老人保健施設の役割が地域の方の中で、自宅で見られなくなった状況で入れて貰える施設としか見られていないという現状です。その中で、支援相談員として、施設の役割を理解していただいて在宅復帰へとつなげていけるか、毎日が勉強と模索の繰り返しです。

そんな私は支援相談員として六年目を迎えています。また結婚をして、長女と長男の二児の父親でもあり、夫としての生活もしているわけですが、私にとって仕事は「日々自分との戦いであり、人生の修練場」だと思っています。大げさに聞こえるかもしれませんが、一日の大半は職場で過ごすわけですから、自分のやり様ですべての考え方の基礎が出来上がってくると思います。だから、これから社会に出る人たちには自己評価を大切に頑張り、頑張り貫えればと思います。私も一生、人生という名の一生徒として頑張っていきたいと思っています。





関谷 優さん  
社会福祉学部 8期生

アースサポート株式会社  
西日本エリア人事グループ

大学を卒業し、アースサポート株式会社へ入社し早3年目を迎えました。  
本当にあつという間に3年目！感じる時間の早さからも充実しているんだなと自分自身の仕事を振り返ることが出来ます。

私の勤務するアースサポート株式会社は、介護サービスの中でも在宅サービスを中心に拠点を展開しています。現状に満足せず、常に上を目指すのが特徴の社風で、入社時より人事グループに所属し業務を行っています。仕事は大きく分けて、①採用業務（新卒、中途）②人事労務③研修業務です。全てが「ひと」に関わる業務で、入社当初より新卒採用業務を中心に携わり少しずつですが、最近では仕事の幅が広がったように思います。実績を数字で図れる仕事ではない為、成果が見えず何の為に仕事をしているのだろうと感じたこともありましたが、今ではしっかり目標を定め業務に取り組んでいます。そう思えたきっかけは、初めて関わった学生が新入社員として入社してきたことです。就職活動中に行っていた姿を見ると、自分のことのように嬉しく、1人でも多くのひとに働くことの面白さを実感して欲しい！そう感じたことが私にとって大きな出来事でした。

入社当初は、当社を志望する学生と話す時、就職活動アドバイス、会社や業界の魅力など、先輩の話す内容などを真似しながら、とにかく形になることが大切と突っ走ってきました。その為、自分でなくても担当できるのではない

## 仕事もプライベートも何でもやりたいことは やってみる精神でとても充実した毎日を送っています。

かと思いましたが、それを繰り返すことで自分なりの答えや考え方が確立され、今の自分の基礎が出来たと思います。採用業務を行ったからこそ、重要性を感じられたのが研修業務です。会社として採用したからには、採用した責任があります。人材の質がサービスの質に直接反映する事業だからこそ、研修を定期的に行いスタッフのスキルアップまた能力開発につなげることが重要です。当社では、パート・アルバイト・正社員全てのスタッフを対象に目的別に合わせた研修を設けています。研修業務は主に事務局として、研修の成果を仕事に反映できるようにサポートをしています。

すべてのスタッフが働きやすく、やりがいをもち仕事に取り組める環境を整えることが仕事であり、人材の質がサービスの質という考えの基、質の向上を目指しています。仕事をする上で欠かせないのが、スタッフ間、部署間の連携です。人とのコミュニケーションや、自分の考えをもつこと、人への心遣いは大学生活で身につけたことが活かしていると実感しています。しかし、学生と社会人では異なるのが「成果が求められる」という点ではないかと考えます。言われたことだけをこなすのではなく、必ず+αで成果をだすことが大切です。入社当初と現在を比べ、自分の中で変化したことは、何事においても、何の為に、どんな成果を期待されているのかを自然と考えられるようになったことではないかと感じています。それが+αに繋がっていくのだと思います。



職場環境にも恵まれ、仕事はとても面白いです。仕事もプライベートも何でもやりたいことはやってみる精神でとても充実した毎日を送っています。

どんなときも自分から何かを配信できる主体的な姿勢がチャンスを生み出すと思うので、これからもガツガツしていこうと思います！（笑）



# 校友ネットワーク

## 玉田 和靖 さん

社会福祉学部 2期生  
勤務先・社会福祉法人ジェイエイおい福祉会  
配属先・特別養護老人ホーム こすもす倶楽部  
主任生活相談員



関西福祉大学を卒業して、気がつけば8年も経っていました。本当に月日が流れるのは早いものです。私は卒業後すぐに神戸にある老人保健施設で2年間勤務し、その後地元である相生に戻り、現在の職場である特別養護老人ホームこすもす倶楽部に勤務しています。

こすもす倶楽部では7年目を迎え、「まず人ありき、暮らしありきを信条に」という施設理念の一文をもとに、生活相談員として、介護職員、看護師、管理栄養士、介護支援専門員また家族の方と連携をとり、できるだけ多くの情報を共有し、ご利用者の皆様にその方らしく生活していただけるよう日々考え、悩みながら勤務しています。

ご利用者の皆様から教わることは本当にたくさんあり、毎日勉強させていただいています。それらの教えは今後の自分の人生の宝物になるに違いありません。その宝物を大切にしてください。こすもす倶楽部でいろんなことを学ばせていきたいと思えます。学生の皆様もぜひ一度、こすもす倶楽部へ見学に来てください。

話は変わりますが、大学時代の友人との交流で、クラブ活動で一緒だった仲間たちと年に数回会っています。30歳を過ぎていても、結婚していても、いなくても、相変わらずのバカっぷりでホッとします。本当に良い仲間と出会うことができました。卒業してから会っていない友人も多くいますが、皆さんお元気ですか？お互い体には気をつけて、仕事にプライベートに充実した日々を送りましょう。では、また会う日まで。

## 銅嶋 沙織 さん

社会福祉学部 9期生  
勤務先・兵庫県社会福祉事業団  
配属先・清水ヶ丘学園 支援員



現在、私は情緒障害児短期治療施設「清水ヶ丘学園」の支援員として、賑やかな子ども達に囲まれて働いています。支援員の仕事は、子ども達と生活をともにしながら、子ども達それぞれが抱えている生活上の課題や問題行動（生活習慣、対人関係等）に対して様々な面で支援をしていくことです。良い行いは大げさなぐらいに褒め、悪い行いは毅然とした態度で注意し、問題行動を修正していきけるように支援していく、そういったメリハリを意識して日々業務に努めています。

休日には、大学時代の友人とよく遊びます。大学時代の親友達はほぼ近場に住んでいることもあって、休みが合えば月1〜2回のペースで会っています。こうやってすぐに集まり、ワイワイできる友人が近くにいることはとてもありがたいです。最近では、その大学の友人と休みを合わせ、屋久島旅行に行ってきました。世界遺産である縄文杉を見ましたが、たどり着くまでの道のりは地獄でした。平坦な道を10キロ歩いた後は、険しい山道を2キロ倒れるかと思いましたが、縄文杉を見た瞬間疲れが吹っ飛びました。下山はまた現実に戻され、かなりしんどかったです。自然のパワーを吸収でき、大変リフレッシュできた休日となりました。まだまだ2年目の新米支援員ですが、これからも仕事とプライベートを両立させながら、充実した毎日を過ごしていきたいと思っています。



## 丸尾 佳菜さん

看護学部 1期生

勤務先・兵庫県教育委員会

配属先・姫路市立山陽中学校 看護教諭



今年の3月に卒業し、4月から約2ヶ月間は小学校、現在は中学校の看護教諭として働いています。

大学時代の思い出は、辛かったことの方が断然印象に残っています。毎週末にファミレスに行き、友人たちと徹夜で課題を仕上げたこと、実習時には実習仲間とホテルに泊まり、徹夜で起こし合って記録を仕上げたことなど、特に3年次からは課題、実習、就活、卒研、国試と日々追われていました。

しかしこのすべての経験は、今では本当に貴重な財産となっています。友人たちとの楽しかった時間も良き思い出ですが、辛いことを友人たちと一緒に乗り越えた思い出は、楽しかった思い出よりもより深く心に残っています。

当時は、辛さが永遠に続くかのように感じられましたが、乗り越えてしまえば「大変やったけど、いい経験になったね」と、友人たちと笑いながら話す時が必ずやってくるのだと実感しています。

今は、その友人たちのほとんどは看護師として働いています。看護教諭仲間も少なく、時には少し寂しく感じることもあります。しかし看護師も保健師も看護教諭も、「相手が成長し自己実現することを助けること」が、根本にある職業だと思っています。この言葉は、大学で教わったメイヤロフの『ケアの本質』に記されていました。

働くフィールドはそれぞれ違いますが、お互いがよい刺激となり、たまにはみんなで息抜きをしながらも、日々成長できるような努力していきたいと思っています。

## 羽田野 綾乃さん

看護学部 1期生

勤務先・公立学校共済組合 関東中央病院

配属先・5階西病棟 呼吸器・皮膚科 看護部



2010年3月に看護師・保健師免許を取得後、この春、公立学校共済組合関東中央病院に看護師として就職しました。まだまだ慣れないことばかりで緊張の毎日ですが、患者様やそのご家族に「看護師さん」と声をかけられる度、またナースコールが鳴る度に「ああ、私はここで看護師として働いているんだ」と改めて実感します。

学生時代に経験したこと、就職後に実際に現場で求められることの差にとまどいを感じることもありましたが(例…点滴を作る、それを患者様に直接つなぐ・薬の管理、配薬・各種注射・採血・輸液ポンプや麻薬の管理等)技術を習得するにつれ、現在は落ち着いて業務にあたる事ができています。

緊張の中にも、患者様との関わりの中で看護の喜びや楽しみを見出し、充実感を持って仕事をしています。まだまだ半人前ですが、看護師になって実感したことは、大きなやりがいがある、ということです。使い古された言葉かもしれませんが、やはりこれに尽きると思います。

看護職を目指すみなさん、今学習していることは将来必ず役に立ちますし、学生の時に感じたことはその後の看護観へと繋がることになると思います。今を大切に、そして思い切り楽しみつっ、これからの自分を少しイメージし、実習や講義に臨んでみてください。

私自身も日々学習の毎日ですが、今後この知識を確実に自分のものにしていき、穏やかに、そして確実な看護を提供できる看護師を目指していきたいと考えます。

## 夏休み宿題教室

昨年度より地域貢献のひとつとして始めた『夏休み宿題教室』が、8月10日(火)・8月24日(火)に開催されました。

両日を通して赤穂市内小学生227名と保護者の方々、そして在学学生は学生スタッフとして43名が参加し、大賑わいとなりました。

小学生たちはそれぞれ、国語や算数のドリル、読書感想文や福祉作文、工作やポスター、習字などを持ち寄り、学生スタッフはヒントを出しながら子どもたちが自力で宿題を完成できるよう学習支援をしました。

参加してくれた小学生たちからは勿論、保護者の方々からも大好評を頂いている『夏休み宿題教室』。昨年から引き続いての参加者も多かったようです。



## 全日本学生剣道選手権大会 出場の報告

去る7月3日(土)～4日(日)の両日、日本武道館にて全日本学生剣道選手権大会及び全日本女子学生剣道選手権大会が開催されました。

本学からは剣道部男子、正田 孝治(4年、男子副主将)、本学剣道部女子、荒砂 文野香(4年、女子主将)が出場しました。両者とも早稲田大学の選手と対戦し、延長戦の結果惜しくも敗退となりました。

しかし、全国大会への個人出場は剣道部創部以来、初の快挙です。両者とも敗れはしましたが、持てる力を出し切った素晴らしい戦いでした。



### 部活動紹介

## 男子バスケットボール部

男子バスケットボール部は部員12名とマネージャー5名で火曜日と木曜日の18時～日々活動しています。

主に、関西選手権大会、姫友戦、リーグ戦、新人戦、市民大会などに出場しています。

他大学と練習試合などを行いながら、つい先日始まったリーグ戦での優勝&昇格を目指しています。

人数は少なくとも沢山のOBの方々や親御さん達に支えられています。

プレイヤーはみんなとても頑張り屋さんです★

皆さん応援よろしくお願ひします!

応援して下さい皆さんの期待に応えられるように頑張ります!





# 平成22年度事業計画・収支予算(案)

平成22年3月13日(土)、平成21年度関西福祉大学校友会第3回理事会および幹事が開催され、平成22年度事業計画および収支予算について協議、決定されました。

## 平成22年度事業計画

### 1 会務

- (1) 総会 1回開催予定 10月、汐風祭時
- (2) 理事会 3回開催予定 事業計画、当初予算、事業報告、決算等
- (3) 幹事会 3回開催予定 事業計画、当初予算、事業報告、決算等
- (4) その他 校友会設立10周年記念プロジェクト等

### 2 正会員に対する活動

- (1) 名簿の発行 (6) 個別校友会に対する助成活動  
当該年卒業生の住所録として発行 (7) ホームカミングデー
- (2) 会報の発行 年2回発行 (8) 結婚式祝電サービス
- (3) 10周年記念事業 (9) 国家試験受験対策セミナー
- (4) ホームページの更新、SNSサイト運用 (10) 恩師との相談会開催
- (5) 支部の助成活動等会員相互の交流促進 (11) 海外研修プログラムへの助成

### 3 母校、在学生に対する支援

- (1) 大学祭、課外活動団体等に対する助成
- (2) 大学の事業・行事への協賛
- (3) 学章・校友会章贈呈等
- (4) 奨学金の支給
- (5) 海外研修プログラムへの助成

### 5 その他

- (1) 会員の慶弔および親睦、見舞い、弔電、供花等および懇親会
- (2) 研究活動 研究会開催支援等
- (3) 中・長期的課題 次期事業計画
- (4) 卒業後の会員の動向調査について
- (5) その他

## 1 収入の部

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)  
(単位：円)

科目	本年度予算	前年度予算	増減	備考
1 会費収入	38,940,000	40,720,000	△1,780,000	・在学生 1,241名 社会福祉学部 (1年 200名、2年 175名、3年 240名、4年 265名) 看護学部 (1年 80名、2年 102名、3年 89名、4年 90名) 1,241名×30,000円=37,230,000円 ・編入生 15名 社会福祉学部(3年 5名) 看護学部(3年 5名、4年 5名) 15名×60,000円=900,000円 ・専任教職員 81名 81名×10,000円=810,000円
2 前年度繰越金	95,200,043	110,385,043	△15,185,000	
3 雑収入	0	0	0	
(1) 受取利息	(0)	(0)	(0)	中国銀行 赤穂支店 普通・定期預金
合計	134,140,043	151,105,043	△16,965,000	

## 2 支出の部

科目	本年度予算	前年度予算	増減	備考
1 事務費	9,480,000	7,750,000	1,730,000	
(1) 人件費 (4,100,000)	(4,000,000)	(100,000)	事務局契約事務職員人件費	
(2) 消耗品費 (300,000)	(300,000)	(0)	事務用品等	
(3) 旅費交通費 (800,000)	(700,000)	(100,000)	理事会・幹事会、プロジェクト等出張費	
(4) 印刷製本費 (400,000)	(400,000)	(0)	校友会資料、封筒等	
(5) 諸会費 (50,000)	(50,000)	(0)	セミナー受講料	
(6) 報酬手数料 (100,000)	(100,000)	(0)	ホームカミングデー等アルバイト代	
(7) 新聞雑誌費 (50,000)	(50,000)	(0)	書籍	
(8) 通信費 (2,500,000)	(1,000,000)	(1,500,000)	校友会資料、会報、名簿、アンケート等発送	
(9) 会議費 (300,000)	(300,000)	(0)	理事会・幹事会、プロジェクト等会議費	
(10) 渉外費 (100,000)	(100,000)	(0)	他大学等調査経費・粗品・謝礼	
(11) 備品費 (500,000)	(500,000)	(0)	備品購入等	
(12) 慶弔費 (80,000)	(50,000)	(30,000)	校友会員見舞金、結婚式祝電サービス	
(13) 雑費 (200,000)	(200,000)	(0)	振込手数料	
2 事業費	10,644,000	13,155,000	△2,511,000	
(1) 名簿作成費 (300,000)	(200,000)	(100,000)	名簿作成	
(2) 会報作成費 (1,000,000)	(900,000)	(100,000)	会報(年2回)作成	
(3) 振興費 (3,000,000)	(0)	(3,000,000)	国家試験受験対策セミナー、恩師との相談会、学章・校友会章、会員の動向調査等	
(4) 助成費 (2,470,000)	(3,501,000)	(△1,031,000)	ホームカミングデー、個別校友会、海外研修プログラム、大学祭、課外活動等	
(5) 支部活動補助費 (304,000)	(304,000)	(0)	支部運営助成、支部設置準備	
(6) 奨学金費 (2,950,000)	(2,950,000)	(0)	緊急奨学金	
(7) システム管理費 (620,000)	(5,300,000)	(△4,680,000)	SNSビキタ、ホームページ	
3 予備費	30,000,000	30,000,000	0	
4 校友会設立10周年積立金	0	5,000,000	△5,000,000	下記参照
5 次年度繰越金	84,016,043	95,200,043	△11,184,000	
合計	134,140,043	151,105,043	△16,965,000	

## 3 各種積立金

(単位：円)

積立年度	校友会設立10周年記念積立金
20年度	5,000,000円
21年度	5,000,000円
22年度積立額	10,000,000円

# 平成21年度事業報告・収支決算(案)

平成22年6月26日(土)、平成22年度関西福祉大学校友会第1回理事会および幹事が開催され、平成21年度事業報告および収支決算について報告、承認されました。

## 平成21年度事業報告

### 1 会務

- (1) 総会 (2) 会報の発行 年2回発行 (6月29日、12月10日)
- 第1回 平成21年10月25日(日)
- 平成20年度事業報告 (3) 東海支部への助成
- 平成20年度収支決算・会計監査報告 (4) 個別校友会活動への助成 1件(10月26日)
- 平成21年度事業計画 (5) 結婚式祝電サービス (7件9名)
- 平成21年度収支予算 (6) 国家試験受験対策セミナー (9月27日)
- 新役員選出・役員改選結果報告 (7) 恩師との相談会 (10月24日)
- (2) 理事会・幹事会 (8) ホームカミングデー (10月24日、25日)
- 第1回 平成21年6月27日(土)
- 平成20年度事業報告 (9) 海外研修プログラムへの助成(フィリピン・マニラ)
- 平成20年度収支決算・会計監査報告 (10) SNSの運用
- 慶弔規程の一部改正
- 新規事業について
- 新役員選出・役員改選結果報告

### 3 母校、在学生に対する支援

- (1) 大学祭イベントへ景品寄贈 (液晶テレビ)
- (2) 大学事業・行事への協賛 (海外研修プログラム助成)
- (3) 学章・校友会章贈呈 (卒業式、入学式にて贈呈)
- (4) 奨学金制度の運営 (1名給付)
- (5) 課外活動への助成 (剣道部)

### 2 正会員に対する活動

- (1) 名簿の発行 当該年卒業生の住所録として発行 (12月15日)

## 1 収入の部

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)  
(単位：円)

科目	決算	予算	増減	備考
1 会費収入	40,560,000	40,720,000	△160,000	平成21年度収入 ・在学生 1,307名×30,000=39,210,000 ・編入生 9名×60,000= 540,000 ・専任教職員 81名×10,000= 810,000
2 前年度繰越金	110,385,043	110,385,043	0	
3 雑収入	42,416	0	42,416	
(1) 受取利息	(0)	(0)	(0)	中国銀行 赤穂支店(普通・定期預金)
合計	150,987,459	151,105,043	△117,584	

## 2 支出の部

科目	決算	予算	増減	備考
1 事務費	5,453,340	7,750,000	△2,296,660	
(1) 人件費 (4,098,297)	(4,000,000)	(98,297)	事務局契約事務職員人件費	
(2) 消耗品費 (17,222)	(300,000)	(△282,778)	事務用品等	
(3) 旅費交通費 (257,039)	(700,000)	(△442,961)	理事会・幹事会、意見交換会出張費	
(4) 印刷製本費 (113,400)	(400,000)	(△286,600)	封筒等	
(5) 諸会費 (0)	(50,000)	(△50,000)		
(6) 報酬手数料 (16,000)	(100,000)	(△84,000)	ホームカミングデー等アルバイト代	
(7) 新聞雑誌費 (0)	(50,000)	(△50,000)		
(8) 通信費 (831,830)	(1,000,000)	(△168,170)	校友会資料、会報、名簿、SNS、総会案内等発送	
(9) 会議費 (94,062)	(300,000)	(△205,938)	理事会・幹事会、意見交換会等会議費	
(10) 渉外費 (0)	(100,000)	(△100,000)		
(11) 備品費 (0)	(500,000)	(△500,000)		
(12) 慶弔費 (0)	(50,000)	(△50,000)		
(13) 雑費 (25,490)	(200,000)	(△174,510)	振込手数料	
2 事業費	6,478,415	13,155,000	△6,676,585	
(1) 名簿作成費 (106,500)	(200,000)	(△93,500)	名簿作成	
(2) 会報作成費 (732,473)	(900,000)	(△167,527)	会報(年2回)作成	
(3) 助成費 (1,828,442)	(3,501,000)	(△1,672,558)	大学祭、課外活動、個別校友会、ホームカミングデー、海外研修プログラム、結婚式祝電サービス、各種セミナー、相談会等	
(4) 支部助成費 (122,000)	(304,000)	(△182,000)	支部運営助成	
(5) 奨学金費 (350,000)	(2,950,000)	(△2,600,000)	緊急奨学金	
(6) システム管理費 (3,339,000)	(5,300,000)	(△1,961,000)	卒業生データ管理システム、SNS	
3 予備費	0	30,000,000	△30,000,000	
4 校友会設立10周年積立金	5,000,000	5,000,000	0	下記参照
5 次年度繰越金	134,055,704	95,200,043	38,855,661	次年度繰越金内訳: 普通預金 133,187,715円 郵便振替口座 457,030円 小口現金 410,959円
合計	150,987,459	151,105,043	△117,584	

## 3 各種積立金

(単位：円)

積立年度	校友会設立10周年記念積立金
平成20年度	5,000,000
平成21年度	5,000,000
合計	10,000,000



第14回

平成22年

10月30日(土)  
31日(日)

# 汐風祭

大学祭のご案内

今年も卒業生の皆様が母校に集い、恩師や校友と語り、交流を深めていただく場として、「汐風祭」開催日をホームカミングデーとし、校友会館前に専用のブースを設け、皆様のお越しをお待ちしております。



## 第7回ホームカミングデー

平成22年10月30日(土)・31日(日)  
10:00～15:00(汐風祭と同時開催)

## 原稿募集

- 校友会員の各種集い、部・サークルのOB会、ゼミ同窓会などの様子をお知らせください。
- 会員の皆様それぞれの仕事の内容や仕事上の悩み・喜びなど、1000字程度 of 原稿をお寄せください。
- 校友インタビュー・校友ネットワークに登場していただける校友を募っています。自薦、他薦を問いません。事務局までご連絡ください。
- 記事の雰囲気を伝える写真、筆者の近影などがあれば添付してください。写真は発行後返却します。
- 原稿及び写真の採否は事務局に一任ください。
- 原稿の加筆、修正、削除などをお願いする場合があります。
- 校友会会報企画・編集に興味のある方は事務局までご連絡ください。
- その他、校友会へのご意見などお寄せください。(事務局)

## 関西福祉大学

## 校友会総会のご案内

平成22年度校友会総会を下記のとおり開催します。  
当日は「汐風祭」も開催されます。ぜひ、ご参加ください。

校友会総会

平成22年10月31日(日)

【時間】14:30～15:30

【場所】校友会館2階 校友会館ホール

## 校友会報 第16号

- 発行日 平成22年9月30日
- 発行所 関西福祉大学 校友会

〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3  
TEL 0791-46-2525 (大学代表)  
TEL 0791-46-2847 (校友会事務局)  
FAX 0791-46-2615  
☒ koyukai@kusw.ac.jp

大学HP：  
<http://www.kusw.ac.jp/>  
校友会HP：  
<http://www.kusw.ac.jp/koyukai/index/index.html>

## ひとくちメモ

開学	平成9年(1997年)4月
開設(大学院)	平成21年(2009年)4月
学部・学科	社会福祉学部・社会福祉学科 (社会福祉専攻 子ども福祉専攻) 看護学部・看護学科
大学院	社会福祉学研究科
教員数	専任 68名
学生数	1,253名
卒業生数	累計 2,747名
社会福祉士合格者数	10期累計1,002名
精神保健福祉士合格者数	10期累計196名
看護師合格者数	1期72名
保健師合格者数	1期53名
敷地	59,674 m <sup>2</sup>
延床	19,745 m <sup>2</sup>

平成22年9月1日現在